

専門看護師ラダー（CNSラダー）

2014Q216臨床能力向上委員会

		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ
対象	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属する組織において複雑で解決困難な課題やニーズを見極め、現象を包括的にアセスメントできる</li> <li>エビデンスに基づいた知識・技術を駆使しながら、ケアとケアを融合した看護実践ができる</li> <li>自らの看護実践について省察を積み重ね、有効なスキルを意識し実践に活用できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健医療福祉で活動するチームの推進者及び調整者として、リーダー的な役割モデルを示すことができる</li> <li>専門性の高いサービスの提供と看護の質向上に貢献することができる</li> <li>組織の課題を明確にするとともに、変革者として提言し活動することができる</li> <li>自らの実践の成果を研究的に明らかにし、看護のエビデンスを蓄積することに寄与できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>変化する社会のニーズを多角的にとらえ、効果的なケアシステムを構築し、保健医療福祉の発展に寄与することができる</li> <li>専門看護師の活動によるアウトカムを社会へ提示するとともに、学際のプロセスを促進し、積極的に政策提言に関与することができる</li> </ul>
全領域で、患者/クライアント・看護師と看護実践・組織を対象とする。	実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑で解決困難な課題に関連した情報を収集し、根拠に基づいた全人的アセスメントにより、問題となる現象を明らかにできる。</li> <li>その専門分野におけるエビデンスに基づいた最善の介入を検討・計画し実践・評価できる。</li> <li>看護介入により導かれるアウトカムを自覚し、それを記録で表現できる。</li> <li>看護計画の実施において、患者にとっていかなるケア環境にあって患者にとって必要なケアができるように看護師や多職種と連携することができる。</li> <li>看護実践や多職種連携による効果を看護師や多職種協働チームにフィードバックすることができる。</li> <li>自らが行った看護実践を省察し、言語化できる。</li> <li>自分の役割や能力の限界を自覚し、必要な専門家を活用することができる。</li> <li>患者へのケア内容において、効率性と費用対効果を高めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護実践とそのアウトカムに影響を与える組織のシステムや多職種協働についてアセスメントできる。</li> <li>看護介入の効果を、組織に提言することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者の状態に合わせ革新的で、費用対効果のよい看護実践の創造や、新たなケアモデルやガイドラインの開発をすることができる。</li> <li>社会に専門看護師の活動による成果が認められるように働きかけることができる。</li> </ul>
	相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンサルティの所属部署の組織分析ができる。</li> <li>コンサルティが問題と感じる事例や複雑で解決困難な問題を抱える事例に対し、エビデンスに基づくツールや方法を用いて現象を包括的に分析したり、コンサルティに対して患者ケアについてのアドバイスができる。</li> <li>コンサルティが患者のケアを行う際に知識・技術の課題を明確にし、コンサルティがその問題を克服し自身の手で解決することができるよう支援することができる。</li> <li>コンサルティの職務満足につながるよう支援することができる。</li> <li>コンサルティが看護ケアの実践の効果を自覚できるよう、フィードバックすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンサルティが、患者を全人的に捉え、効果的な看護計画を立案することができ、患者にとって望ましいアウトカムが達成されるように援助できる。</li> <li>コンサルティ自身が患者をみる能力を阻害している因子に気づき、成長できるよう意図的・段階的に介入できる。</li> <li>コンサルティの患者ケアの課題を解決する能力を高めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者ケアプログラムの開発においては、組織の戦略的責務、使命、展望、理念、価値観に矛盾せず発案できる。</li> <li>コンサルテーション事例のエビデンスを蓄積し、診療報酬など政策立案時に影響を与えることができる。</li> </ul>
	調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者や患者を取り巻く家族・保健医療福祉従事者との関係や、チームの力量を把握したうえで、患者にとって最も効果的な調整になるかを考え、意図的に介入することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者、家族、ケア提供者間の見解を提示し、相互の合意とチームの意思決定を促進することができる。</li> <li>多職種チーム医療における看護の役割を明確にし、協働を促進するうえで、リーダーシップを発揮することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進のための政策的な議論を支援し活性化するために、専門的な資源と公的資源を結集することができる。</li> </ul>
	倫理調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>倫理的な課題が何かを見極め、価値の対立を明らかにし、調整することができる。</li> <li>スタッフの役割モデルとなり、スタッフが倫理的感性を高めることができるよう働きかけることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織内外の中で発生しうる倫理的葛藤を予見し、その解決に向けて計画することができる。</li> <li>困難で複雑な状況の中で起こっている倫理的な課題を、卓越したコミュニケーション能力、対人関係、概念化の力を用いながら解決することができる。</li> <li>ケア提供者の倫理的感性の向上により、全人的なケア能力を向上することができる。</li> <li>倫理的感性の高い組織風土を作ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職としての提言や倫理的課題に関するガイドラインの作成に関与することができる。</li> </ul>
	教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者/クライアントに対し、患者のニーズに見合った教育ができる。</li> <li>実践現場の中で個々の看護師の実践能力を見極めることができ、教育的支援を行うことができる。</li> <li>看護師のケアの課題解決能力を高めることができる。</li> <li>看護師のキャリア開発において教育的支援を行うことができる。</li> <li>チームのメンバーの一人としての個々の看護師の実践能力を高めることができる。</li> <li>所属する組織の教育ニーズを見極め、ニーズに応じた教育方法を講じることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の特性に即した教育支援を行うことができる。</li> <li>組織の教育ニーズに応じた教育プログラムの作成実施においてリーダーシップを発揮することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の変化を予測し、保健医療福祉に関する効果的な教育支援を行うことができる。</li> <li>専門看護師の人材育成ができる。</li> <li>教育プログラムのアウトカムを明確化するとともに、そこから明らかになった知見を、広く社会に発信することができる。</li> </ul>
	研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護実践を研究的視点で分析することができる。</li> <li>看護師が自らの看護実践を研究的視点で振りかえることができるように支援することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護実践を研究的に明らかにし、関連学会等で発表することができる。</li> <li>専門看護師の組織に与える影響を研究的に明らかにし、組織変革につなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門看護師の組織内外への貢献を明らかにし、政策提言につなげることができる。</li> <li>研究成果と看護実践の結果を集約し、看護の発展に寄与することができる。</li> </ul>